

PPMWM(検査情報管理システム)

患者検査情報(オーダー)を各モダリティへ提供

- ・DICOM規格のMWM(モダリティ・ワークリスト・マネージメント)を利用し、患者情報、検査情報をモダリティへ転送。
- ・患者情報(患者ID、患者名ローマ字/漢字)を院内システムで一括管理。
- ・モダリティ側の患者情報入力の省力化や入力誤りを防止。
- ・撮影時のオペレーションの軽減及び、効率化が図れる。

ワークリストサービス仕様

- ・複数モダリティによる同時接続に対応する。
- ・モダリティ毎に異なる応答キー属性を設定可能。
- ・拡張文字セット対応。



※HIS/RISと接続させるためには追加開発が必要になる場合があります。

PPMWMの最低動作環境	PPMWMの推奨動作環境
<ul style="list-style-type: none"> ・CPU:Pentium IV 3GHz 以上 ・メモリ:4GB 以上 ・HDD:Client:500GB以上、MSDE:1TB 以上(SCSI 推奨) ・OS:Windows 7/10 	<ul style="list-style-type: none"> ・CPU:Core i5 3GHz 以上 ・メモリ:8GB 以上 ・HDD:Client:1TB 以上、MSDE:1TB 以上(SCSI 推奨) ・OS:Windows 10

PACSPLUSについてより詳しい情報は<http://hesel.jp>をご覧ください。

開発元

株式会社 HeSeL(ヘッセル)
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-11-3 ディアレスト東京 8F
TEL 03-3553-1201(代表) 03-3523-5390(サービス)
FAX 03-3555-5122
<http://hesel.jp/>

「PACSPLUS」は株式会社HeSeLの登録商標です。

お問い合わせ先

安全に関する注意
製品を安全にお使い頂くため、使用前に必ず「取り扱い説明書」をよくお読み下さい。
記載内容は機能向上のため予告なく変更する場合があります。最新版についてはお問い合わせ下さい。

PPMWM

PACSPLUS Modality Worklist Management Server

モダリティとの情報を一元管理。受診者情報管理を強力サポート。